



# ビジターセンターからの おしらせ

## ガとチョウの違いって？展示中！

「派手な見た目がチョウで、地味な見た目がガ？」「翅を閉じて止まるのがチョウで、開いて止まるのがガ？」

これ、本当だと思いますか？そもそもガとはチョウとは、どんな昆虫なんでしょう？見ればきっと誰かに話したくなる、「ガとチョウは同じ仲間 展」7月より公開中！



## 節電の取組実施中

電力のひっ迫を受け、奥多摩ビジターセンターでも節電の取り組みをしています。例えば、トイレの電気が一つ消えていたり、エアコンの設定温度が少し高かったり…。ご不便をおかけしますが、節電のご協力をお願いします。

必要な際は電気をお付けいたしますのでスタッフまでお声がけください！



# ちちたまかい ニュース

## この秋、子どもパークレンジャー開催予定！

今年の秋も、秩父多摩甲斐国立公園を舞台に子どもパークレンジャーのイベントを行います！

子どもパークレンジャーとは、環境省のレンジャー（自然保護官）と一緒に自然観察や自然解説による環境学習などを小・中学生に体験してもらうプログラムです。

今年は山梨県西沢渓谷と、埼玉県三峯神社周辺ハイキングコースの2か所で開催予定。いずれも秩父多摩甲斐国立公園を代表する名所！

日程等の詳細は、ホームページをご確認ください。



西沢渓谷の涼やかな渓谷美



狼信仰の伝わる三峯神社周辺



奥多摩ビジターセンター  
〒198-0212 東京都西多摩郡奥多摩町氷川 171-1  
TEL: 0428-83-2037  
URL: <https://www.ces-net.jp/okutamavc/>  
指定管理者: (株) 自然教育研究センター (略称 CES)

8月25日発行



Twitter



Follow me!



Facebook



You Tube



第5号 奥多摩ビジターセンター通信

季刊

# おくとん

2022  
夏

## ビジターセンターの周りにこんな生きものがいました！



## わたしたちの氷川渓谷調査

### 中間報告

今月のラインナップ

- 特集 -

氷川渓谷調査中間発表

- ビジターセンターからのおしらせ -

企画展 ガとチョウの違いって？

節電の取組実施中

- ちちたまかいニュース -

子どもパークレンジャー参加者募集

おくとんでは、奥多摩を探求し、奥多摩を堪能していただくための情報をお届けします。

# 氷川溪谷調査 中間報告 ～こんな生きものがいました～

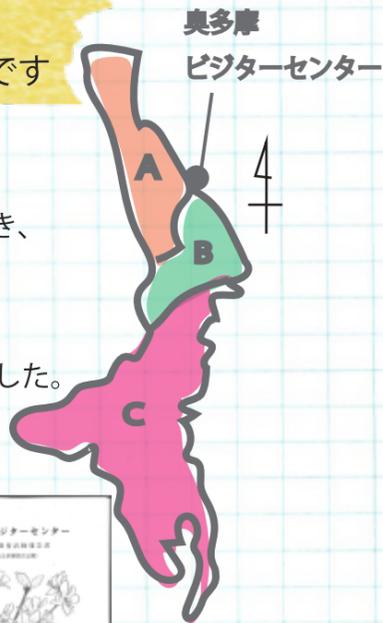
## ▶調査背景

ビジターセンターから最も近いフィールドとしてガイドウォークなどにも用いる氷川溪谷の自然。動植物を把握し、利用者への確かな案内、生物多様性のある自然を保全していくことを目的に動植物の種類の調査を行いました。

自然のことならビジターセンター！  
と言われる施設になるための情報収集です

## ▶調査方法

- ・毎回同じコースを週に1回（月4回）程度歩き、動植物の種名、状態を記録しました。
- ・人家や庭、畑にあるものは原則対象とせず、遊歩道沿いでは植栽も含め、全て対象としました。
- ・調査区分は平成7年（1995年）「氷川溪谷の自然」奥多摩ビジターセンター発行を参考にしました。



## ▶調査期間

2020年4月から（まとめは2022年3月末まで）

## 最初の調査があった1995年はこんな年



氷川溪谷では…  
溪谷周りの木々は少し小さい  
氷川小橋にゴミ箱があった！



日本では…  
阪神淡路大震災 発生  
地下鉄サリン事件 発生  
生物多様性国家戦略（原案）発表  
日本産のトキが「キン」一羽になる

## ▶結果（2022年3月末までの種数／1995年種数）

植物 **345種** / 568種

1995年の約6割ほどの種数が確認されました。林縁や園地の中を細かく見ていくことで、もっと種数は増えると思います。27年前と比べるとキンラン、シュンラン、メハジキなどの明るい雑木林を好む植物が見られませんでした。指定植物<sup>\*</sup>では、イワタバコ、エビラシダ、ガクウツギ、カヤラン、クガイソウなどが確認されました。



※風致の重要な要素である植物や希少な植物を環境大臣が指定したもの

哺乳類 **10種** / 未調査

哺乳類の多くは夜行性。調査の中でも、実際に哺乳類を目撃したのは全記録の約15%で、85%の記録はフンや足跡といった痕跡。奥多摩に生息している哺乳類は44種なので、私たちが氷川溪谷調査で見た哺乳類はその20%程度。痕跡からは、詳細な種が分からないことや、コウモリなど痕跡を残しにくい哺乳類を確認できていないためだと思います。夜間調査などでもっと多くの哺乳類を記録したいと思います。



両生類 **2種** / 未調査

氷川ではカジカガエル、ヤマアカガエルの目撃のみ。サンショウウオのなかまの目撃はありませんでした。



鳥類 **60種** / 72種

ハクセキレイやイソヒヨドリ、ガビチョウなど1995年当時は記録されなかった種が確認されました。その代わりに奥氷川神社のシンボルだったブッポウソウは見られなくなり、毎月のように記録されていたヤマセミも今では稀になりました。



爬虫類 **7種** / 未調査

氷川では、ヘビが2種類、そのほかビジターセンターではヤモリが見られました。カメの仲間でも唯一確認されたクサガメは道路でひかれていました。園地などでの目撃情報を集めればヘビ類はまだ確認種が増えると思います。

昆虫類 **83種** / 未調査

氷川溪谷の特徴は平地～丘陵にいる虫（カブトムシ、クロコノマチョウ、ハルゼミなど）と山地でよく見る虫（ミヤマクワガタ、ミヤマカラスアゲハ、ミヤマカワトンボなど）がーカ所で見られるということです。調べ甲斐のある面白いところだと言えます。



ビジターセンターに情報をお寄せください  
・目撃、痕跡などの日時  
・生きもの名前  
・状況や状態（出来れば写真もほしい）

今のところ27年前の調査時よりも生きもの確認数が減っています。  
環境の変化？それとも…。今後も調査を続けます！生きものを見つけたら教えてくださいね。